

ひと・まち・しごと創生

鹿沼市総合戦略

(改訂版)

(平成27年度～令和3年度)



平成27年10月 策定

平成29年11月 改訂

令和2年3月 改訂

<目次>

◆計画改訂にあたって	P.1
◆計画の位置付けと構成	P.2
1 基本的な考え方	
(1) 基本目標	P.3
(2) 目標の実現と全ての施策の取組姿勢	P.4
(3) 事業推進の視点	P.5
(4) 目標設定と成果の検証	P.6
2 事業展開	
◇施策の体系	P.7
◇施策と目標	
(1) 産業の振興と安定した雇用の創出	P.8～13
(2) 地域資源を活用した交流と移住・定住の促進	P.14～18
(3) 結婚・出産と子育て支援・教育の充実	P.19～22
(4) みんなで支え合う地域コミュニティづくり	P.23～25
3 鹿沼市の人口（人口ビジョン）	
(1) 人口の動向	P.26
(2) 鹿沼市の人口推移	P.27
(3) 鹿沼市の将来人口	P.28～29

◇表紙◇

「かぬまのイチゴ、日本ー！」 北小学校 2年 金子 悠良 さん

※ 本総合戦略では、鹿沼市子ども会連合会主催の「平成27年度子ども会絵画展」で入賞した作品の中から、表紙と挿絵を選定し、活用させていただきました。「平成27年度子ども会絵画展」は、『わたしの鹿沼じまん』をテーマとし、本市への理解を深め、豊かな感性を育てるために、郷土の風景・産業・お祭り・学校や地域の行事・子ども会行事や市の施設などに関心を持って描かれた絵画です。

◆計画改訂に当たって

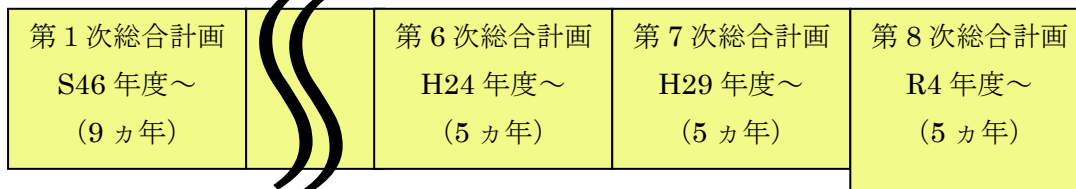
- 本市では、平成 27 年、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、“平成 27 年度～平成 31 年度”の 5 年度における人口減少対策等の方針をまとめた「鹿沼市総合戦略（以下、総合戦略）」を策定し、平成 29 年度には、「第 7 次鹿沼市総合計画」（平成 29～令和 3 年度）のスタートにあわせ、時勢の変化等に応じた改訂を行い、各種施策を展開してきた。
- 令和元年、国においては人口減少と東京一極集中の更なる改善のため、地方創生の取組を強化するとして、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、4 つの基本目標に加え、「関係人口の創出」や「Society5.0 や SDGs など新しい時代の流れの活用」をはじめとする「6 つの新たな視点」を踏まえ「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することとした。
- 本市においてはこれまで、人口ビジョンに掲載した「2060 年に本市人口 69,337 人を維持すること」を目標に、「社会増減±0 人」、「合計特殊出生率 2.07」を目指し各種施策を展開しているが、5 か年目標の「令和 2 年に 95,971 人」に対し、「令和 2 年 1 月現在で 95,662 人」と、速いペースで人口が減少している。その一方で、合計特殊出生率については、平成 29 年時点で、平成 27 年実績値と同じ「1.41」を維持するなど、一定の成果を見せている。
- 以上を踏まえ、本市においては引き続き、途切れのない地方創生の推進による人口減少対策に取り組むこととする。ただし、次年度より次期総合計画の策定に着手することから、今回は、国から示された「新たな 6 つの視点」を踏まえ、人口ビジョンも含めた時点修正を図り、現計画を 2 カ年延長とする「改訂版」を作成する。
- 引き続き市民一人ひとりが“自分事”^{じぶんごと}として地域の課題に取り組むとともに、官民一体となって“協働”のまちづくりを進め、“まち”に活力を取り戻し、人々が安心して元気に働き、子どもを産み育てられる環境づくりを推進する。

◆計画の位置付けと構成

- ・ 「ひと・まち・しごと創生鹿沼市総合戦略」を「改訂版」とし2カ年延長する。
- ・ 改訂にあたっては、国から示された「6つの新たな視点」を勘案するとともに、「人口ビジョン」については時点修正を行う。
- ・ 「第2期ひと・まち・しごと創生鹿沼市総合戦略」については、第8次鹿沼市総合計画の策定に合わせて整理する。

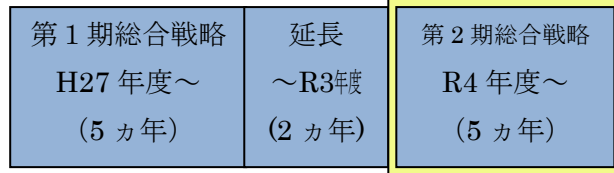
<総合計画と総合戦略の関係（イメージ）>

●鹿沼市総合計画

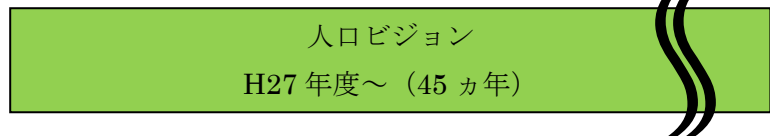


●鹿沼市総合戦略

○ひと・まち・しごと創生鹿沼市総合戦略



○人口ビジョン



1 基本的な考え方

(1) 基本目標

① 3つの目標

I 鹿沼のチカラを高め、夢にチャレンジができるまち

- ・ 市民が自分の夢を叶えられるまち、本市を選んで、夢に向かって人生をかけて頑張ろうとする人たちを温かく迎え、人情味あるまちを目指す。

II 全国と世界から注目されるまち

- ・ 市民一人ひとりが、本市の魅力・実力を発信する。また、市外の人々から認められた鹿沼の良さを生かし、全国や世界の人から注目される“鹿沼”となり、本市を訪れる多くの人と市民が、活発に交流するまちを目指す。

III 豊かなこころを育て、生涯安心して暮らせるまち

- ・ 市民が安心して生活を営み、子どもを産み育て、生涯幸せを享受しながら、笑顔で心豊かに暮らせるまちを目指す。

② 4つの施策の柱

- ①産業の振興と安定した雇用の創出
- ②地域資源を活用した交流と移住・定住の促進
- ③結婚・出産と子育て支援・教育の充実
- ④みんなで支え合う地域コミュニティづくり

③ 6つの視点

i 地方へのひと・資金の流れを強化する

- ・ 将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大
- ・ 企業や個人による地方への寄付・投資等を用いた地方への資金の流れの強化

ii 新しい時代の流れを力にする

- ・ Society5.0の実現に向けた技術の活用
- ・ SDGsを原動力とした地方創生
- ・ 「地方から世界へ」

iii 人材を育て活かす

- ・ 地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援

iv 民間と協働する

- ・ 地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携

v 誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ・ 女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会をつくる

vi 地域経営の視点で取り組む

- ・ 地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント

(2) 目標の実現と全ての施策の取組姿勢

- 市民が主体となって、官民が協働で進めるまちづくり
- 地域の魅力を掘り起こし、交流の輪を広げ、市内外へ“魅せる”まちづくり
- 誰もが“自分事”として取り組むまちづくり

(3) 事業推進の視点

①鹿沼市の特性の再認識

◇再認識の視点

- 鹿沼の住み良さ
- 鹿沼のチカラ
- 鹿沼の楽しさ

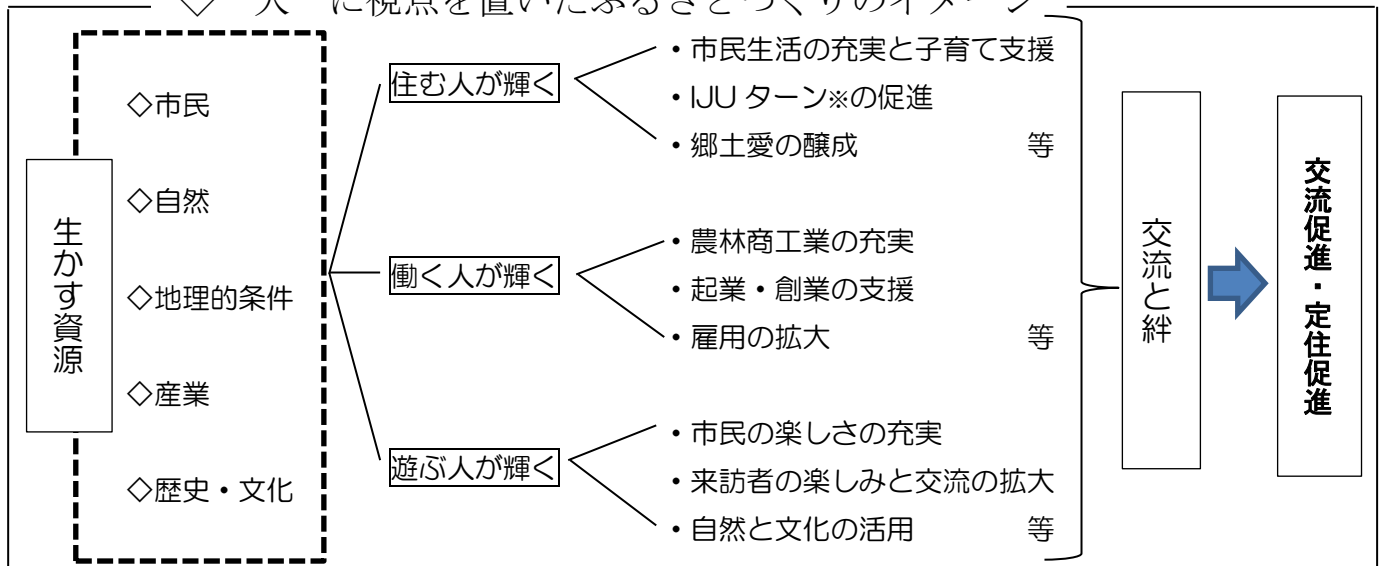
◇特性の視点

- 市民：活力と優しさあふれる市民・人情味があり住む人の顔と顔がわかる関係
- 自然：豊かで美しい自然環境
- 地理的条件：首都圏へのアクセス方法・災害の少ない環境
- 産業：農林商工業の多彩かつレベルの高い産業・豊かな農林作物
- 歴史・文化：世界に誇れる歴史と文化・おもてなしの観光資源・木の文化

② “人” に視点を置く事業の推進

- ・市民、これから市民になる人、ときどき訪れる人・・・等、人々が、豊かな資源を生かして、いきいきと暮らし、働き、遊べるまちになるための施策を展開する。
- ・鹿沼で出会う様々な人が活発に交流し、絆を深めながら安心して定住できるふるさとづくりを進める。

◇ “人” に視点を置いたふるさとづくりのイメージ



3つの基本目標

※IJUターン

Iターン・・・生まれ育った故郷から進学や就職を機に故郷にはない要素を求めて、故郷とは別の地域に移住すること

Jターン・・・生まれ育った故郷から進学や就職を機に都会へ移住した後、故郷にほど近い地方都市に移住すること

Uターン・・・生まれ育った故郷から進学や就職を機に都会へ移住した後、再び生まれ育った故郷に移住すること

(4) 目標設定と成果の検証

- 施策の柱ごとに、総合的な数値目標を設定する。
また、各施策にも、それぞれの達成目標となる指標（重要業績評価指標＝KPI※）を設定する。
- 各種団体等から推薦されたメンバーで構成される委員会等※により、目標や指標の達成状況の確認、事業見直しの検討などを毎年度実施する。
- 評価する側とされる側の双方が、その結果について責任を持って、評価に当たる。
- PDCA サイクルの下、効果検証と改善を継続して実施する。

※重要業績評価指標＝KPI（Key Performance Indicator）

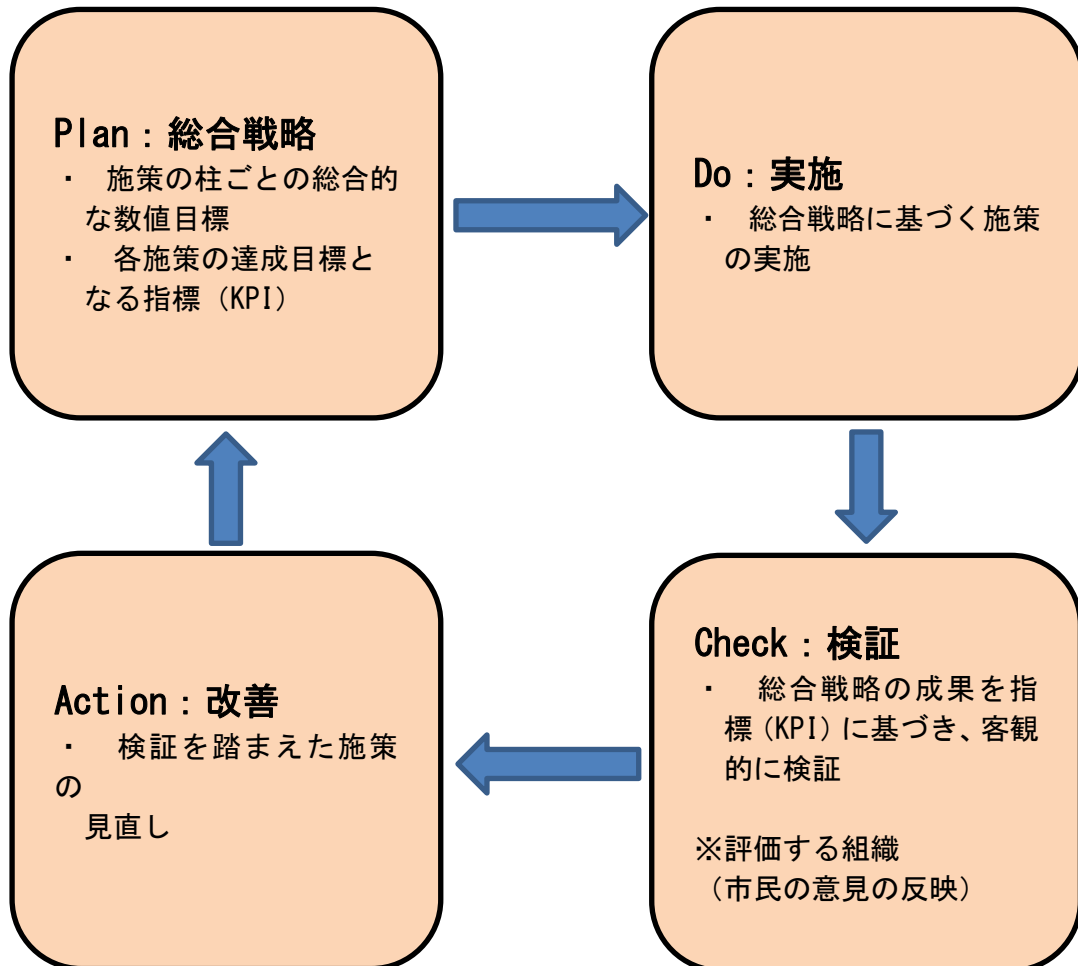
目標に向かって日々業務を進めていくに当たり、「何をもちて進捗とするのか」を定義するために設定される尺度のこと。適正な進行管理を行うため、現況を指し示す様々な指標の中から、進捗を表現するのに最も適していると思われるものを選択し、総合戦略に掲げる全ての事業に対して設定することとした。

※各種団体等から推薦されたメンバーで構成される委員会等

産・官・学・金・労・言で構成

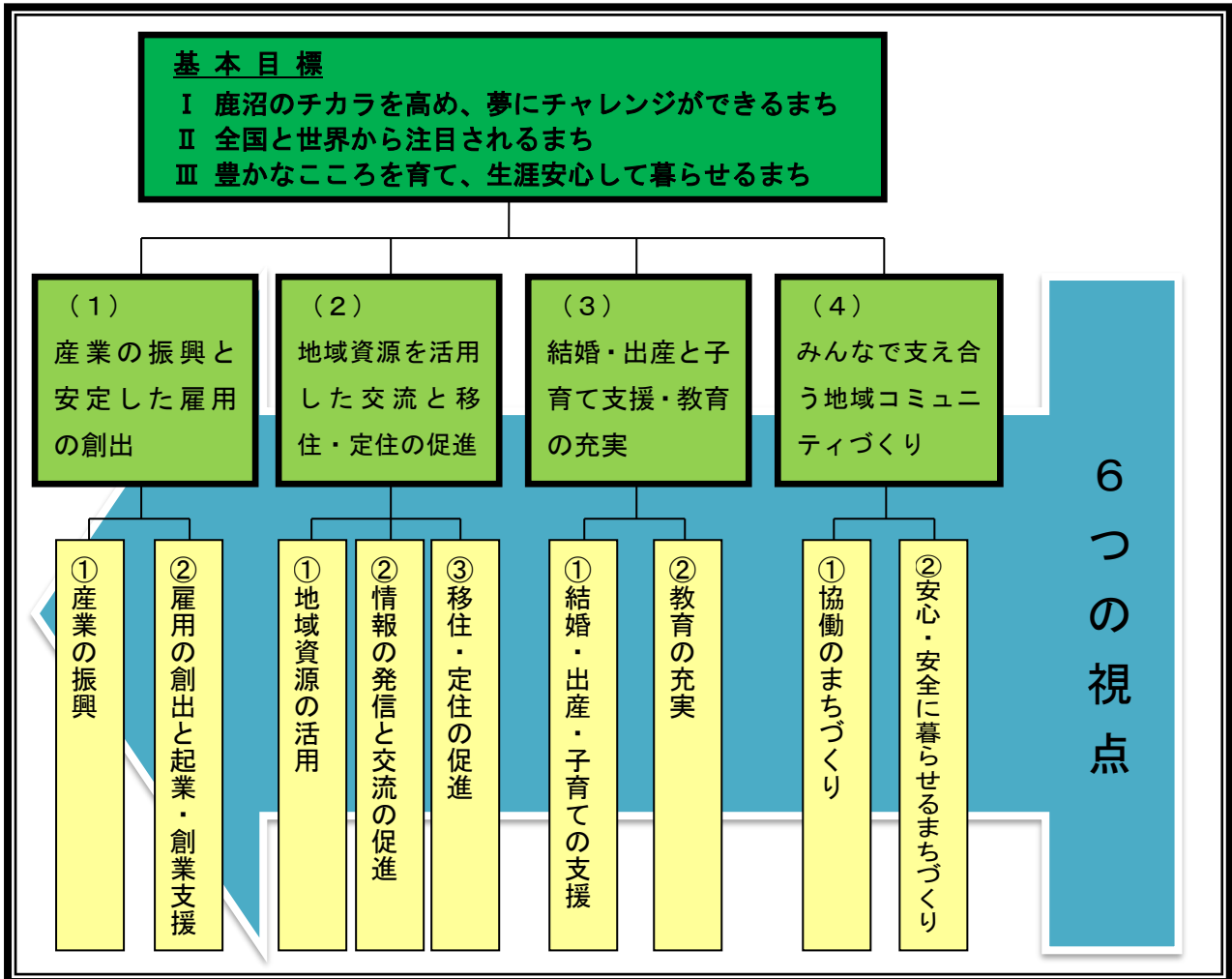
産：産業界、官：行政機関、学：教育機関、金：金融機関、労：労働団体、言：メディア

◆◆PDCA サイクル◆◆



2 事業展開

◇施策の体系



6つの視点

- i 地方へのひと・資金の流れを強化する
 - ・将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大
 - ・企業や個人による地方への寄付・投資等を用いた地方への資金の流れの強化
- ii 新しい時代の流れを力にする
 - ・Society5.0の実現に向けた技術の活用
 - ・SDGsを原動力とした地方創生
 - ・「地方から世界へ」
- iii 人材を育て活かす
 - ・地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援
- iv 民間と協働する
 - ・地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携
- v 誰もが活躍できる地域社会をつくる
 - ・女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現
- vi 地域経営の視点で取り組む
 - ・地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント

◇施策と目標

(1) 産業の振興と安定した雇用の創出

◇数値目標

- 就業率※：58%（平成22年） ⇒ 60%（令和3年）
- 市内総生産額※：348,015百万円（平成24年度）
⇒ 394,341百万円
（令和3年度）

※就業率：15歳以上人口に占める就業者の割合。就業者/15歳以上人口×100。

※市内総生産額：出典「とちぎの市町村民経済計算」（栃木県）

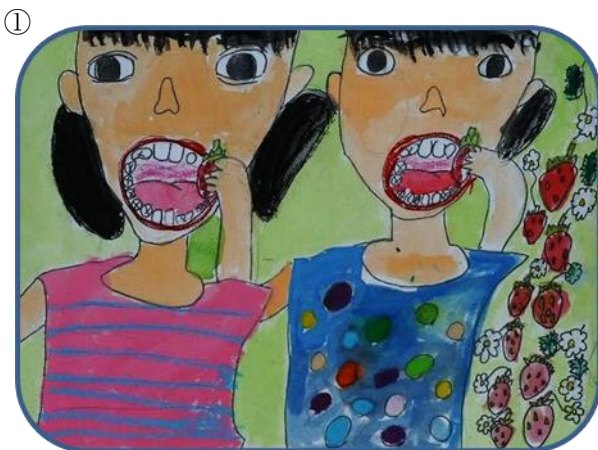
◇基本的方向

①産業の振興

- 本市の産業の特徴や課題を調査分析し、活性化につなげることにより、魅力ある地域産業を創造し、地域の特性を生かした雇用へつなげる
- クールジャパンに対応した鹿沼産品の外国へのPRと輸出を進める

②雇用の創出と起業・創業支援

- 地域の雇用を確保するため、若者や女性の活躍する場を創出する
- 「鹿沼市創業支援ネットワーク」を活用し、ビジネスモデルの構築、資金調達など創業に必要な要素に応じて、適切な創業支援を行う
- 産業界、行政機関、教育機関、金融機関等と連携して事業を推進する



- ①「いちごがり」 さつきが丘小学校 1年 わきさか ゆな さん
②「鹿沼じまんは、鹿沼和牛」 北犬飼中学校 1年 増淵 彪尊 さん

◇施策

①産業の振興

本市の特性に応じ、未来技術の活用や地域内経済の循環など生産性が高く、稼ぐ地域の実現に資する施策を展開する。

施策	主な内容	重要業績評価指標 (KPI) … (令和3年度末)
農林商工連携と6次産業化の推進		(7年間の累計)
・ 農林商工連携と6次産業化支援事業	・ 新製品・新商品の開発研究、販路拡張事業、商標登録に関する補助	・ 農林商工連携支援等新規事業認定件数：18件 ・ 試作品開発数：10品
中小企業への支援		(7年間の累計)
・ 展示会出展事業	・ 展示会出展の補助 ・ ビジネスマッチ鹿沼の開催	・ 展示会等出展支援件数：157件 ・ 商談件数：260件
・ 制度融資	・ 市内中小企業者や、個人事業者への融資斡旋や、経営指導	・ 設備資金・創業資金の年間融資件数：15件
・ 地場産業のトータルサポート	・ 新製品・新技術の開発、販路開拓、基盤整備等の補助	(7年間の累計) ・ 新製品・新技術の開発、販路開拓、基盤整備等支援件数：68件
・ 中小企業の成長支援	・ 研究開発や人材育成、ハイテクノロジー活用等の側面支援 ・ 産業支援機関と連携し事業継承マッチング	・ 支援件数：10件
高品質な畜産物の生産推進	・ 家畜導入の支援 ・ 家畜伝染病予防の強化	(7年間の累計) ・ 和牛貸付件数：29頭
園芸作物の生産振興	・ いちご・にら・トマト・梨・緑化木等の生産振興と新品種の栽培支援	・ いちご・にら・トマト出荷量・出荷額： 前年比100%以上
地域の特性に応じた生産振興	・ <麻> 運営補助 ・ <こんにゃく> 需給安定化の支援 産地としての地位確保の支援 ・ <マカ> 新規作物導入の支援	・ 麻生産面積：700a ・ こんにゃく栽培面積： 1,800a ・ こんにゃく平均単価： 前年比100%以上 ・ マカ生産量：5,810kg
耕作放棄地対策の推進	・ 耕作放棄地解消補助 ・ 耕作放棄地の新たな活用の検討	(7年間の累計) ・ 耕作放棄地解消面積： 346,573㎡

施策	主な内容	重要業績評価指標 (KPI) … (令和3年度末)
野生鳥獣被害の防止		
<ul style="list-style-type: none"> 防護柵設置・獣害対策システム開発事業 	<ul style="list-style-type: none"> 防護柵設置 獣害対策システムの開発 	<ul style="list-style-type: none"> 農業被害額の軽減： 82% (7年間)
海外における展示会への出展支援	<ul style="list-style-type: none"> かぬまの名産海外輸出促進連絡協議会への支援 テスト輸出・展示会出展支援 	<ul style="list-style-type: none"> (7年間の累計) さつきなどの海外輸出額：442,718千円
新たな産業用地の創出		
<ul style="list-style-type: none"> 新しいシゴト誘い込み事業 	<ul style="list-style-type: none"> 企業の動向・ニーズ、緑地率緩和等の制度見直しによる影響、必要とされる産業用地のあり方などを調査 	<ul style="list-style-type: none"> (7年間の累計) 企業の誘致や規模拡大等による雇用数： 823人
<ul style="list-style-type: none"> 新たな産業用地の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな産業用地の創出に向けた調査 	
鹿沼産材の利用促進		
<ul style="list-style-type: none"> 森林認証材利用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 友好都市等へのPR みなとモデルによる木材の利用促進 鹿沼産木材による建築の助成の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> (7年間の累計) 友好都市等との鹿沼産材活用に関する協定： 3件
<ul style="list-style-type: none"> CLT※導入の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 市内公共施設へのCLT導入検討および、活用事例としてPR 	
<ul style="list-style-type: none"> 間伐材の利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマス利用の推進 間伐材の多彩な活用(木育※の推進など) 県、県内他市町、林業木工業界の連携による営業活動の推進 	

※CLT： Cross Laminated Timber (クロス・ラミネイティド・ティンバー) の略で、欧州で開発された工法のこと。板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことを呼ぶ。

※木育： 木と関わることで、木に対する親しみや理解を深めることにより木を生活に取り入れ、自ら森作りに貢献する人の育成を目指す活動。

KPIの積算方法等

○展示会出展支援件数：H30実績129件 R1～3目標28件

○商談件数：H30実績224件+R1～3目標36件

○開発等支援件数：H30実績48件+R1～3目標20件

○和牛貸付件数：H30実績17頭+（4頭×3年）

○中小企業の成長支援件数：5件×2年（R2、R3）

○いちご・にら・トマト出荷量・出荷額：26年度・・・いちご（出荷量1,871.1t、販売金額1,953,852千円）、
にら（出荷量1,818.6t、販売金額869,279千円）、
トマト（出荷量2,021.8t、販売金額563,300千円）

○マカ生産量：H30実績768.9kg

○耕作放棄地解消面積：H30実績257,357㎡+（50,000㎡×3年）

○農業被害額の軽減：基準年 26年度（39,142千円）

○さつきなどの海外輸出額：基準年 26年度（販売金額8,000千円）

③



②雇用の創出と起業・創業支援

女性や障害者、外国人など多様な人々が安心して働きやすい魅力的な就業環境づくりに資する施策を展開する。

施策	主な内容	重要業績評価指標（KPI） …（令和3年度末）
就業支援		
・ 就業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した合同面接会の開催 企業見学会開催支援 	<ul style="list-style-type: none"> 市内就業率：60.0% （7年間の累計） マッチングサイト登録事業所への新規就業者数：331名
・ 女性の就業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 企業向け、女性就労希望者向けセミナーの開催 	
・ I J Uターン促進事業	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ推進補助 首都圏でのガイダンスの開催 	
・ 子育てを応援する企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と子育ての両立や働き方改革等を推進する企業に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援企業：7社
起業・創業支援		
・ 特定創業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 特定創業支援事業認定者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> （7年間の累計） 創業支援者数：552件 創業者数：156人
・ 空き店舗等活用支援	<ul style="list-style-type: none"> 空き店舗等を活用した新規出店者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> （7年間の累計） 空き店舗出店後3年後の定着率75%
企業の誘致	<ul style="list-style-type: none"> 空き工場バンクの活用 企業立地促進補助 I C T企業等の立地促進 企業の本社機能移転やバックアップオフィス等の誘致 	<ul style="list-style-type: none"> （7年間の累計） 誘致件数：9件
国の機関等の誘致	<ul style="list-style-type: none"> 国の関係機関等を誘致する 国の支援制度を市内へ積極展開 	<ul style="list-style-type: none"> （7年間の累計） 誘致件数：1件 地方創生交付金をはじめとする国の制度を活用し、産業系団体等を支援した件数：2件
ベンチャービジネス推進事業 （人材誘致支援事業）	<ul style="list-style-type: none"> ベンチャー企業の創業支援 市内への定住や人の交流を促進する事業の起業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> （7年間の累計） ベンチャー企業の誘致：8件
農業チャレンジ応援事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設園芸を新たに始めるための支援 後継者向けの支援 	<ul style="list-style-type: none"> （7年間の累計） 新規就農者：80人

KPIの積算方法等

○マッチングサイト登録事業所への新規就業者数：H30年度実績 181人+R1～3年度目標 150人

○創業支援者数：H30年度実績 452件+R1～3年度目標 100件

○創業者数：H30年度実績 147人+R1～3年度目標 9人

○空き店舗出店後3年後の定着率：支援店舗のオープン後3年から5年までの出店件数のうち、件数の割合で算出。

④



(2) 地域資源を活用した交流と移住・定住の促進

◇数値目標

- ・ 移住相談による移住件数：110人（令和3年度までの累計）
- ・ 外国人来訪者数：13,000人（令和3年）
- ・ 交流人口（観光入込客数）：331万人（平成26年） ⇒ 450万人（令和3年）

◇基本的方向

①地域資源の活用

- ・ 豊かな自然を活用し、住んでいる人や、訪れる人が楽しめる環境をつくる
- ・ 本市の地場産業である木工業を生かした事業を推進する

②情報発信と交流の促進

- ・ ユネスコ無形文化遺産屋台行事の登録や、さつきの文化の国際化を見据えた、本市を訪れる外国人への受け皿づくり
- ・ 本市の魅力・実力を発信し、本市を訪れる人との交流が活発化するように「全国と世界にアピールするまち」を推進する

③移住・定住の促進

- ・ 全国に誇れる伝統文化を生かした、観光交流の推進と鹿沼のイメージアップを図る
- ・ 観光客にも市民にも使いやすい公共交通の整備を推進する
- ・ 市民が自分の夢を叶え、本市を選んだ方々が人生をかけて頑張ることができるように「夢に向かって頑張ろうとする人たちを温かく迎えられるまち」をつくる

⑤



◇施策

①地域資源の活用

本市の強みを活かして人や資金の流れを創出し、関係人口の拡大に資する施策を展開する。

施策	主な内容	重要業績評価指標 (KPI) … (令和3年度末)
かぬまブランドの支援	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏でのPR ふるさと納税者へのPR 新規ブランドの評価 市外商業施設等への取扱い拡大支援 	<ul style="list-style-type: none"> かぬまブランドの県外での物販平均売上： 20%増
鹿沼そばの振興	<ul style="list-style-type: none"> 「そば天国」の開催 鹿沼そば振興協会の支援 鹿沼そばの特性PR 鹿沼そば生産、流通体制の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿沼産そば充足率： 80%
フィルムコミッション事業		
<ul style="list-style-type: none"> 森と文化の交流促進事業 	<ul style="list-style-type: none"> 旧栗野中学校の改修 旧栗野中学校を活用したロケ等の誘致 旧栗野中学校を活用した、学校や地元企業、地域が連携した交流事業の推進 	(7年間の累計) <ul style="list-style-type: none"> フィルムコミッション関連来訪者数： 6,000人
<ul style="list-style-type: none"> フィルムコミッション事業 	<ul style="list-style-type: none"> 木造校舎等のロケ地としての活用 ツアー企画の売り込み かぬシネマの開催 	
新たな観光資源の発掘とニューツーリズム・グリーンツーリズムの推進		
<ul style="list-style-type: none"> 大芦川流域活用事業 	<ul style="list-style-type: none"> 流域の駐車場の整備 南摩ダム等と連携し、都内の水源地であることの来訪者への啓発及びPR 	(7年間の累計) <ul style="list-style-type: none"> 交流人口(観光入込客数)：1,800万人
<ul style="list-style-type: none"> ニューツーリズム・グリーンツーリズム 	<ul style="list-style-type: none"> 農林業、自然、文化等を活用した事業の実施 鹿沼市の魅力を積極的に発信する着地型観光を推進 観光協会と連携し、新たな観光資源の発掘やDMOの推進等 	
<ul style="list-style-type: none"> 木のまちツアー事業 	<ul style="list-style-type: none"> 木造建築物や森林資源を活用したツアーの実施 	

KPIの積算方法等

○かぬまブランドの県外での物販平均売上：H30年度実績13%増、R2年度以降(年間3.5%増)

○鹿沼産そば充足率：必要としている「鹿沼産そば」の量に対する、「鹿沼産そば」として認定されている量の比率

○フィルムコミッション関連来訪者数：H30年度実績1,708人+R1~3年度目標4,292人

②情報発信と交流の促進

人や資金の流れの創出・拡大に向けた情報発信の強化に資する施策を展開する。

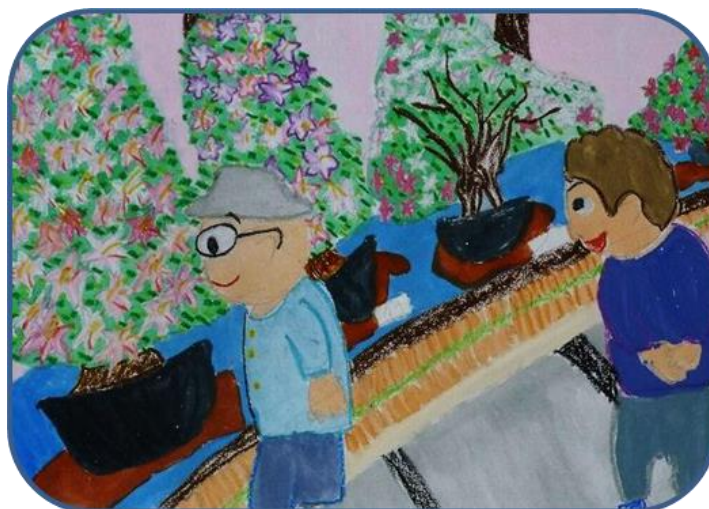
施 策	主 な 内 容	重要業績評価指標 (KPI) … (令和3年度末)
鹿沼営業戦略の推進		
<ul style="list-style-type: none"> 鹿沼営業戦略の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 民間活力を活用した「いちご市」をはじめとした本市の魅力の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿沼市は「いちご市」を宣言したことを認知している首都圏在住者の割合：10%
<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページなどによる情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 旬の鹿沼情報の発信 見やすい・分かりやすい・探しやすいホームページ作り 双方向の情報共有による魅力的な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページアクセス数：3,000件(1日)
ふるさと納税制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税のPRと受入 	<p>(7年間の累計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと寄付金額：187,478千円
観光PRの推進	<ul style="list-style-type: none"> 鹿沼2大祭り・自然・食・物産等のPR 	
外国人向けPRの推進		
<ul style="list-style-type: none"> 秋祭り外国人向けPR事業 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語版ガイドブック、観光パンフレット作成 屋台のまち中央公園・屋台展示館修繕 ユネスコ無形文化遺産屋台行事PR 	<p>(7年間の累計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋台等展示施設外国人来訪者：450人
<ul style="list-style-type: none"> 市民の外国語によるあいさつ運動 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌等で、外国語のあいさつを周知 外国人観光客等へのあいさつを推奨 	
都市交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 足立区・墨田区等との、観光・文化・スポーツ交流の促進 まちの駅を訪れる外国人観光客へのPR 	<ul style="list-style-type: none"> 国内交流都市間の交流人口：7年間で50%増 外国人観光客数：7年間で20%増
広域連携協働での事業		
<ul style="list-style-type: none"> 広域連携による市民協働「花のテーマパーク」事業 	<ul style="list-style-type: none"> 市民や都市住民、花の愛好者による、広域連携協働でのフラワーガーデン作り 案内システム作り こどもの遊び場の整備による集客力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 花木センター来場者数：635,200人

施策	主な内容	重要業績評価指標 (KPI) … (令和3年度末)
まつり行事を活用した事業		
・ まつりでわいわい地方 回帰事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿沼秋祭りを活用した、交流人口の拡大 ・ 近隣都市及び友好都市や首都圏の大学への周知（ふるさと出前講座、プレゼンテーションの実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市外学生等の秋祭り体験参加者数：105人 ・ 屋台展示施設の入館者：7年間で50%増
大学等との連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内での研修・実習フィールドの提供 ・ 受け入れ対象大学の増加 	<p>(7年間の累計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生との交流数：300名

KPIの積算方法等

- 鹿沼市は「いちご市」を宣言したことを認知している首都圏在住者の割合：実施方法（隔年でスマホアンケートを実施。）
- ホームページアクセス数：基準年26年度（1日2,600件）
- ふるさと寄付金額：H30年度実績（121,478千円）、R1年度以降（22,000千円×3年）
- 国内交流都市間の交流人口：基準年26年度（280人・・・市内開催の都市交流事業参加者）
- 外国人観光客数：基準26.9月～27.2月（242人・・・地域経済分析システムによる昼間外国人滞在分析参照）
- 花木センター来場者数：基準年26年の来場者数592,800人
- 市外学生等の秋祭り体験参加者数：28年度以降の合計参加者数
- 屋台展示施設の入館者：基準年26年度（21,970人）
- 大学生との交流数：基準年26年度（48人・・・交流カレッジに参加している述べ大学生数）

⑥



③移住・定住の促進

居住環境も含めた「本市の人を呼び込むチカラ」を強化し、都市部からの地方移住実現に資する施策を展開する。

施策	主な内容	重要業績評価指標（KPI） …（令和3年度末）
移住・定住の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住定住情報の提供等 ・ ワンストップ窓口や専用HPの設置、活用 ・ 移住体験ツアーなどの開催 	（7年間の累計） <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住・定住情報の提供：60,000件
空き家バンクのPRと運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家バンクの効果的なPR ・ 空き家の登録促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家バンクを介した成約数：830件
鹿沼版地域おこし協力隊		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢の再出発応援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿沼を市内外へアピールする人材の受入支援 ・ 事業継承も含めた企業の支援 ・ OB、OGも含めた隊員の活躍PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力隊員数：8人
居住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 首都圏などへの通勤通学者の利便性向上を図る事業の推進 ・ 生活の足としての公共交通のあり方の検討 ・ 高齢者等、いわゆる交通弱者への支援 ・ 民間による住宅地開発の促進（里山の農村型住宅等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通機関利用者：7年間で20%増 ・ 区画整理地内居住者数等：800人
汚水処理人口の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共用下水道や浄化槽を一体に整備し、汚水処理の未普及を解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚水処理普及率：87.8%

KPIの積算方法等

○移住・定住情報の提供：仕事と暮らしのワンストップサイト「かぬまでちょうどいい暮らし」へのアクセス数

月300件×12ヵ月×5年

○空き家バンク成約数：H30年度実績13件+（5件×1年、6件×2年）

○協力隊員数：H30年度実績5人+R1～3年度目標3人

○公共交通機関利用者：基準年 25年度（1,414,254人）

○区画整理地内居住者数等：H30年度実績750人+R1～3年度目標50人

○汚水処理人口普及率：（下水道処理人口+農業集落排水処理人口+合併処理浄化槽人口）/行政人口

(3) 結婚・出産と子育て支援・教育の充実

◇数値目標

- ・ 婚姻率※：4.1パーミル（平成25年）⇒5.1パーミル（令和3年）
- ・ 合計特殊出生率：1.36（平成25年）⇒1.45（令和3年）

※婚姻率：人口全体に対する結婚の発生頻度を表す指標。率は、人口動態統計から得られる年間の婚姻総数を分子に、人口総数を分母にして計算され、婚姻率は人口1,000人当りの婚姻件数として表される。パーミルとは千分率のことで、記号はパーセント(%)の分母に0が一つ増えた「‰」で表される。

◇基本的方向

①結婚・出産・子育ての支援

- ・ 本市の地場産業を活用し、得意分野の強みを生かした結婚対策を推進する
- ・ 出産・子育てをしやすい環境をつくるため、支援を充実する

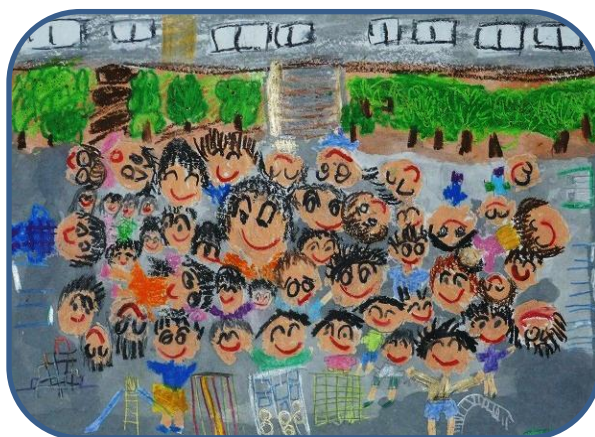
②教育の充実

- ・ 地域に根差した教育を充実する中で、子どもたちの郷土愛を育み、IJUターンにつながる各種施策の推進を図る

⑦



⑧



⑦「農作業」 清洲第2小学校 5年 折笠 晴哉 さん

⑧「学校の広い校庭」 さつきが丘小学校 1年 塩田 琉斗 さん

◇施策

①結婚・出産・子育ての支援

地域や企業と連携し、結婚・出産・子育てしやすい環境づくりに資する施策を展開する。

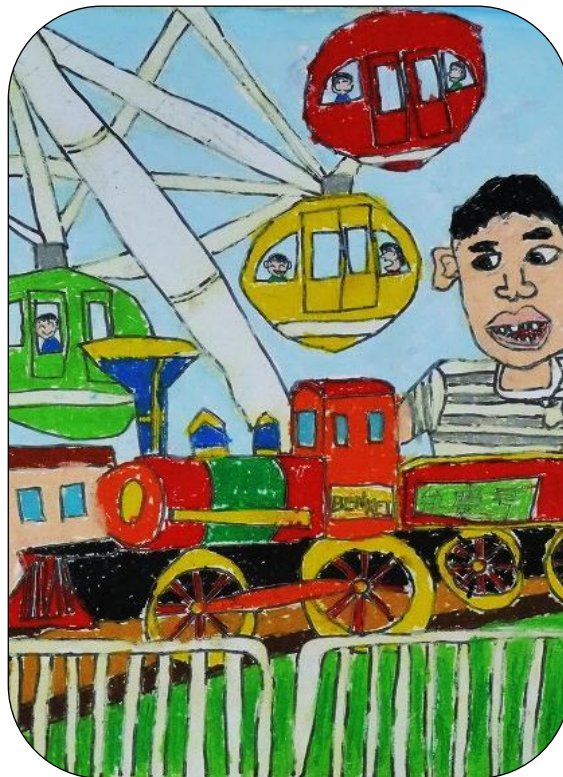
施策	主な内容	重要業績評価指標 (KPI) … (令和3年度末)
結婚対策の推進		
・ 婚活事業	・ 民間企業と協働しながらの出会いの場の提供	(7年間の累計) ・ 結婚対策事業によるカップル成立数：163組
・ 出会いの場提供補助事業	・ 鹿沼市仲人会活動支援 ・ 市公認仲人の養成 ・ 婚活イベントでは本来の良さを発揮できない人への支援	・ 仲人会の支援による成婚数：15組
出産支援事業	・ 「いちごっこかぬま」妊娠から子育てまでの支援 ・ 不妊治療支援事業 ・ 妊娠から産後の健診の助成 ・ 不妊治療経験者をカウンセラーとするカウンセリング支援	(7年間の累計) ・ 不妊治療への支援件数：716件以上
子育て支援事業		
・ 子育て支援事業	・ 地域子育て支援センターの運営及び運営支援 ・ 子育ての相談、子育て情報の提供	(7年間の累計)
・ 安心できる保育サービスの総合支援	・ 保育園や認定こども園の整備 ・ 一時預かり・延長保育、病児保育等の実施及び実施支援	・ 子育て支援センター延べ利用人数：171,700人 ・ 学童利用数：9,320人
・ こども医療費の助成	・ 中学校3年生終了まで医療費の現物給付	・ 放課後子ども教室：12教室
・ 放課後児童健全育成事業	・ 学童の運営支援	・ 放課後子ども教室延べ利用者数：31,528人
・ 放課後子ども教室推進事業	・ 放課後や週末等に、子どもたちが活動する拠点の支援	・ 3歳未満児待機児童数：0人
・ 子どもの遊び場の発掘事業	・ 官民連携で子どもが安心して遊べる場所づくり	・ こども医療費助成対象者の資格登録率：99.9%
・ 多子世帯支援事業	・ 保育料や副食費の減免等	・ 子どもの遊び場利用者数：90,000人
・ ひとり親家庭支援事業	・ ひとり親の保育士等の雇用促進支援 ・ 保育料の減免等 ・ 病児保育利用料の支援 ・ 自立支援教育訓練給付金 ・ 高等職業訓練促進給付金	・ 給付金を支給した者の就業率：100%

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校卒業程度認定試験合格支援 ・ 子どもの貧困に関する調査、研究、および支援 	
--	---	--

KPIの積算方法等

- 結婚対策事業によるカップル成立数：H30年度実績 93組+R1～R3年度目標 70組
- 不妊治療への支援件数：H30年度実績 416件×（100件×3年）
- 子育て支援センター延べ利用人数：H30年度実績 96,700人+R1～R3年度目標 75,000人
- 学童利用数：H30年度実績 5,199人+R1～R3年度目標 4121人
- 放課後子ども教室：26年度（8教室）
- 放課後子ども教室延べ利用者数：30年度実績 18,016人+R1～R3年度目標 13,512人

⑨



②教育の充実

様々な主体と連携し、未来技術に関する知識やグローバルな視点などを育むチカラの強化に資する施策を展開する。

施策	主な内容	重要業績評価指標 (KPI) … (令和3年度末)
奨学金貸付事業	<ul style="list-style-type: none"> 奨学金貸付実施 国・県等の動向を把握し、新制度導入を検討 SNS等を活用した情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 奨学金利用者の満足度 95%以上を維持
青少年によるまちづくりの実践	<ul style="list-style-type: none"> 青少年ボランティア体験講座の実施 青少年による地域づくりの人材育成 	(7年間の累計) <ul style="list-style-type: none"> 青少年によるまちづくり企画提案：30件
子どもの学習支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 経済的理由で学習塾に通えない子どもへの学習支援および生活支援 	<ul style="list-style-type: none"> 学習教室等の開催回数：240回
郷土愛を育む学校教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特色ある資源を活用した出前講座・体験学習等の実施 郷土学習冊子の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 郷土愛を育む授業の支援校数：10校
英語教育の拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> ALTとの授業の実施 英語で行う授業の実施 TOEIC等の導入検討 	<ul style="list-style-type: none"> 英検3級相当取得率 中学3年次：30%以上
特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の教育素材を活用した特色ある教育活動 各種教育施策を導入した特色ある教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> 実践校の割合：100%

KPIの積算方法等

- 奨学金利用者の満足度：現況調査時にアンケートを実施
- 青少年によるまちづくり企画提案：H30年度実績15件+R1～R3年度目標15件
- 学習教室等の開催回数：120回×2年間
- 郷土愛を育む授業の支援校数：R1達成見込み6校+R2～3年度目標4件
- 英検3級相当取得率中学3年次：28年度（18%以上を目標）

(4) みんなで支え合う地域コミュニティづくり

◇数値目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">自治会加入率：79.2%（平成26年度） ⇒ 80%（令和3年度） |
|---|

◇基本的方向

①協働のまちづくり

- 協働のまちづくりや地域の力を伸ばす

②安全・安心に暮らせるまちづくり

- 地域交流を促進し、住んでいる人の顔と顔とが分かる関係づくり
- 地域一体となる安全安心なまちづくり

⑩



◇施策

①協働のまちづくり

女性、高齢者、障害者、外国人など本市に住むすべての人々が居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の構築に資する施策を展開する。

施策	主な内容	重要業績評価指標 (KPI) … (令和3年度末)
自治振興事業	<ul style="list-style-type: none"> 自治会加入率の向上 自治公民館建設、備品購入補助 宅建業協会との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会加入率：80%
市民協働のまちづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域の“夢”実現事業への支援 地域分権予算型事業への支援 「小さな拠点」形成の推進 事業内容のPR 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の“夢”実現事業 実施地区数：17地区 市民提案事業：28件
生活者としての外国籍市民への支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> 一元的相談窓口の設置による相談体制の強化や支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室受講者数：51%

KPIの積算方法等

- 自治会加入率：26年度(79.2%)、27年度(78.5%)、28年度(77.6%)、29年度(79.5%)、30年度(78.1%)
- 地域の“夢”実現事業実施地区数：H30実績12地区+R1~3年度目標5地区
- 市民提案事業：R1年度実績見込み18件+R2~3年度目標10件
- 日本語教室受講者数：H30(受講者566人/外国籍市民1,102人=51%)

⑪



⑫



⑪「磯山神社のあじさい祭り」 津田小学校 3年 齊藤 玲姫 さん

⑫「ぼんおどり」 栗野小学校 2年 さいとう ゆな さん

②安全・安心に暮らせるまちづくり

女性、高齢者、障害者、外国人など本市に住むすべての人々が、「自助・共助・公助」のもとで居場所と役割を持ち、安心安全に暮らせることに資する施策を展開する。

施策	主な内容	重要業績評価指標 (KPI) … (令和3年度末)
自主防災会の設立・活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会の設立及び活動支援 総合防災訓練の実施 出前講座メニューの追加 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会設立率： 100%
安全安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 自治会：公共の場への防犯カメラの設置・防犯灯の支援 学校：防災教育や安全教育の実施（交通安全・防災・防犯） 関係機関との連携の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 人口1,000人当たりの刑法犯罪被害に遭う件数：前年比10%減
障がい者の自立支援サービス	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児・障がい者の自立支援、医療・補装具給付 	(7年間の累計) <ul style="list-style-type: none"> 自立支援サービスの利用者数：8,490人
障がい者の地域生活支援	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援・日常生活用具給付 	<ul style="list-style-type: none"> 社会参加事業の参加人数：4,410人
高齢者の生活支援		(7年間の累計)
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生活支援 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物支援、通院支援等 	<ul style="list-style-type: none"> 支援件数：2,683件
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の「生活の足」の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 利便性の高い地域公共交通の整備 	<ul style="list-style-type: none"> リーバス、予約バスの年間利用者数： 271,325人
地域スポーツクラブ等の育成と支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツクラブの設立及び活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 週1回以上スポーツを行っている市民の割合： 35%

KPIの積算方法等

○自主防災会設立率：26年度（64.39%：85団体設立。未設立47自治会。）

○人口1,000人当たりの刑法犯罪被害に遭う件数：25年（7.4件）

○自立支援サービスの利用者：1年ごとの延べ人数の合算

○社会参加事業の参加者：1年ごとの延べ人数の合算

○買い物支援・通院支援数：H30実績1,533件 + R1~3目標~~5年~~1,150件=2,683件

○リーバス、予約バスの年間利用者数：H27実績271,325人 H28~30平均利用者数266,345人

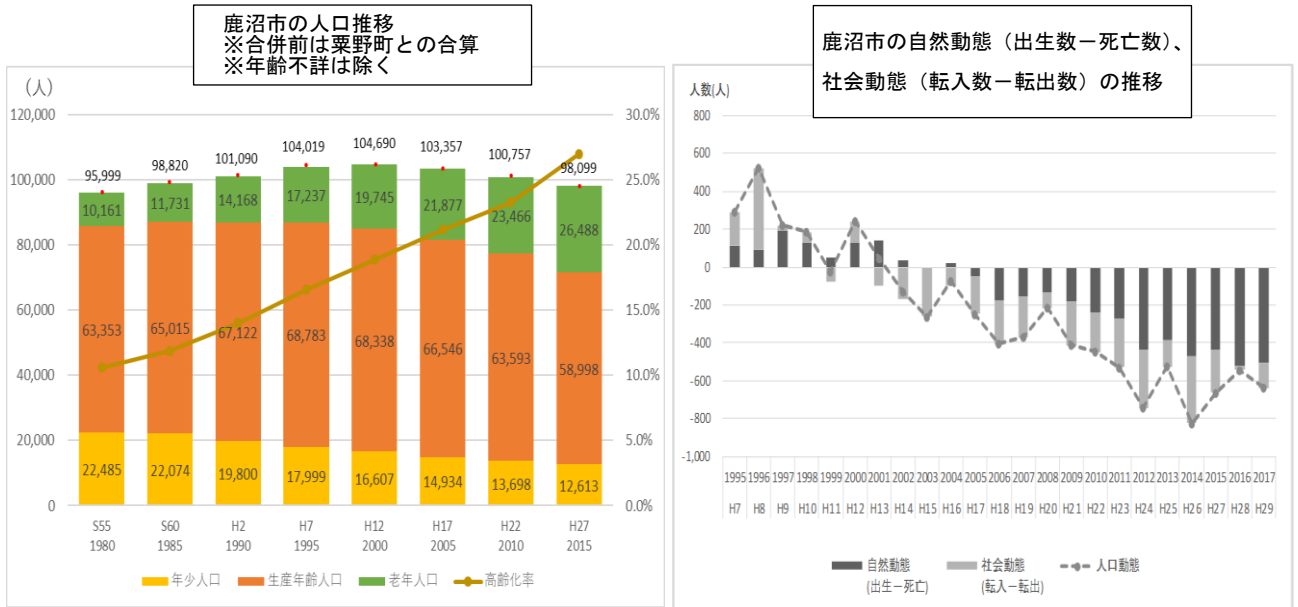
○スポーツ活動実施率：25年度（24.5%）

3 鹿沼市の人口（人口ビジョン）

(1) 人口の動向

1980年からの人口動向を見ると、総人口は2001年3月の104,916人をピークに減少に転じている。生産年齢人口は、総人口と同じく1995年の68,783人をピークに減少傾向に転換しており、年少人口も同じように減少傾向となっている。

老年人口は増加傾向が続いており、2015年は26,488人となっている。また、2000年には老年人口が年少人口を上回り、少子高齢化が進行している。



鹿沼市の自然動態（出生数－死亡数）、社会動態（転入数－転出数）の推移

	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
自然動態 (出生－死亡)	114	89	193	126	51	124	144	39	0	19	-51	-173
社会動態 (転入－転出)	176	435	29	60	-76	117	-99	-168	-261	-95	-197	-234
人口動態	290	524	222	186	-25	241	45	-129	-261	-76	-248	-407

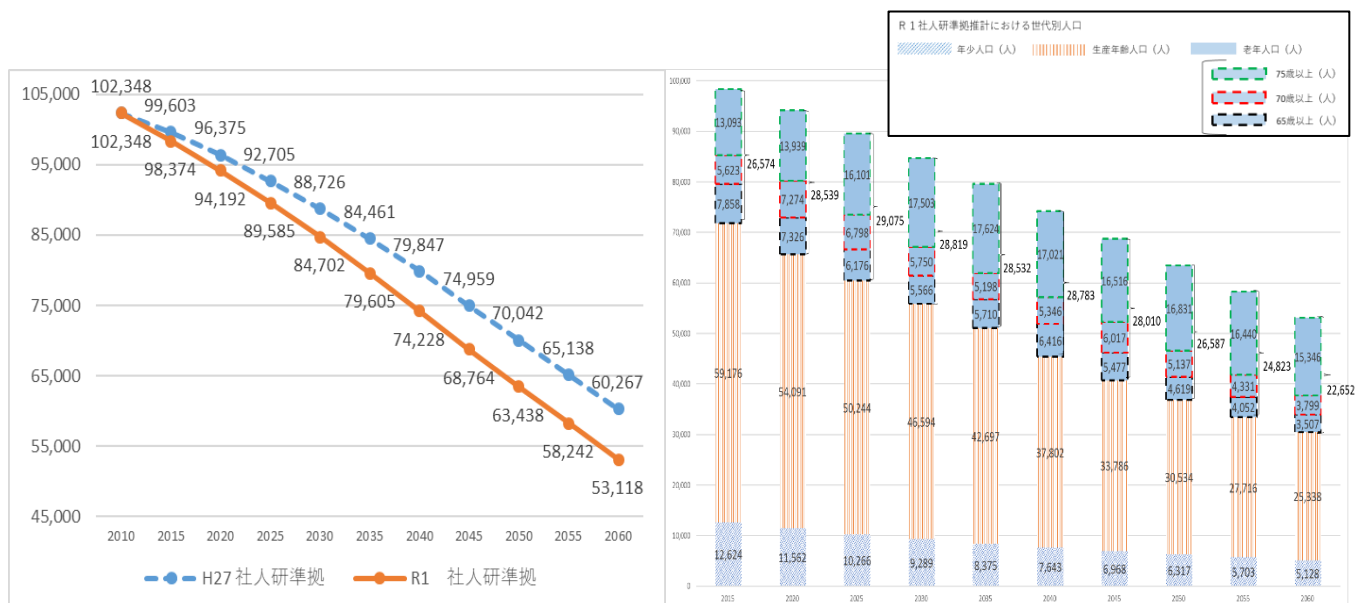
	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
自然動態 (出生－死亡)	-151	-132	-183	-239	-277	-436	-389	-470	-438	-520	-509
社会動態 (転入－転出)	-218	-84	-231	-210	-253	-306	-137	-352	-225	-24	-129
人口動態	-369	-216	-414	-449	-530	-742	-526	-822	-663	-544	-638

自然増減（出生数と死亡数）を見ると、2004年までは出生数が死亡数を上回っていたが、その後、死亡数が出生数を上回り、出生数は緩やかな減少傾向が続いている。社会増減（転入数及び転出数）は、転入数は1996年をピークに減少傾向が続いており、2001年には転出数が転入数を上回り、以降、2015年までは概ね200人～300人/年で減少が続いていたが、2016年以降は外国人転入者の増加により、回復傾向である。

(2) 鹿沼市の人口推移

国立社会保障・人口問題研究所推計（社人研）では、鹿沼市の今後の人口について減少予測を示している。

平成27年度と令和元年度の社人研準拠の推計値を比較すると、令和元年度の推計値が低く算出されている。この要因は、2010年から2015年までの社会動態の実績値が当時の推計値を大きく下回ったことである。



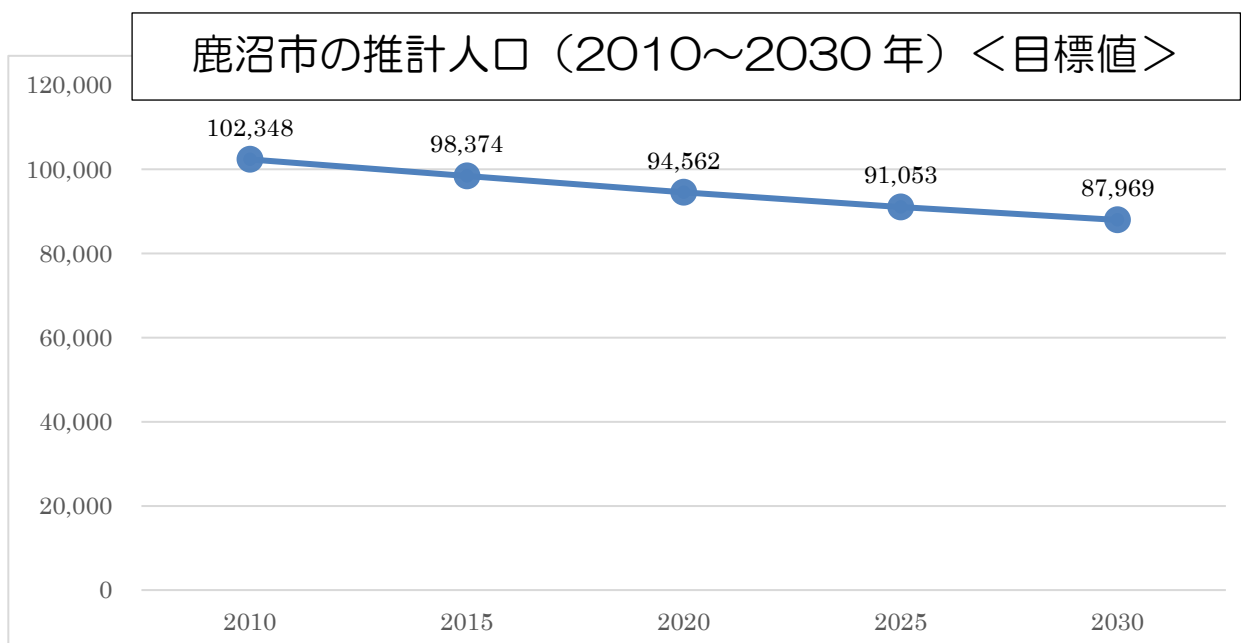
生産年齢人口の減少傾向は変わらず、2060年には約60%減少すると推計されている。また、年少人口に関しても同じような下降傾向が今後も予想され、2060年には約60%もの減少が見込まれている。一方、老年人口は増加傾向が続き、2025年にはピークの29,075人が予想される。しかし、その後は老年人口も減少傾向に転じ、2060年には22,652人まで減少が見込まれる。

生産年齢人口の減少は市の財政にも大きな影響を及ぼす。歳入において、納税者の絶対数が減少することで、個人の所得に直接課税される個人市民税への影響が予想される。一方、歳出においては、老年人口の増加は社会保障費等の上昇につながるが、生産年齢人口の減少により社会保障制度の支え手が少なくなり、財政負担がさらに重くなることで、硬直化した非常に厳しい財政状況を招くことが懸念される。

また、将来においては、平均寿命の延びや定年の延長など「人生100年時代」を見据えた施策について検討する必要がある。

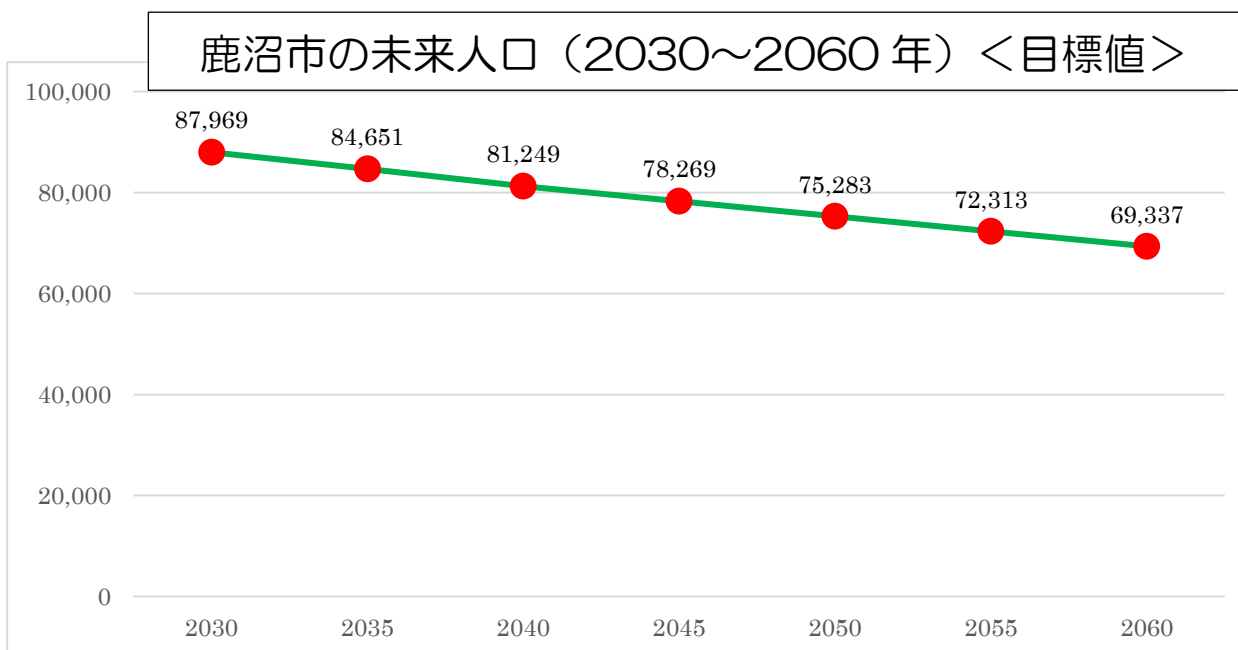
(3) 鹿沼市の将来人口

- ・国は2040年までに合計特殊出生率が2.07まで回復した場合、2060年に1億人程度の人口を確保すると見込んでいる。
- ・県の人口ビジョン骨子案では、合計特殊出生率を2035年に1.90、2045年までに2.07とし、県人口150万人を確保すると見込んでいる。
- ・国立社会保障・人口問題研究所の推計や、国長期ビジョン、県人口ビジョン骨子案の推計を参考に、2030年までの推計人口の目標を立てる。
- ・平成27年度の鹿沼市の合計特殊出生率（一人の女性が一生に産む子供の平均数）は1.41である。
- ・合計特殊出生率と社会増減（転入・転出等）が総合戦略・総合計画で定住促進、結婚・出産・子育て、雇用の確保、多文化共生など様々な施策を打ち出し、総合的かつ、つながりのある事業展開によって改善されることを想定する。



鹿沼市		2010 →	2015 →	2020 →	2025 →
		2015	2020	2025	2030
	社会増減数(5年)	-1,750	-1,167	-583	0
		2015	2020	2025	2030
	合計特殊出生率	1.41	1.43	1.48	1.53
	総人口(人)	98,374	94,562	91,053	87,969
栃木県		2010 →	2015 →	2020 →	2025 →
		2015	2020	2025	2030
	社会増減数(5年)	—	—	—	0
		2015	2020	2025	2030
	合計特殊出生率	1.49	—	—	—
	総人口(人)	約197万人	—	—	—
国		2015	2020	2025	2030
	合計特殊出生率	1.45	—	1.60	1.80
	総人口(人)	約1億2709万人	—	—	—

☆ 次に、40年後の、2060年の社会・経済状況、ライフスタイルなどは、想定が極めて難しいため、今後の将来に向けた取組で、出生率が劇的に向上する可能性も期待して、未来人口として示す。



鹿沼市	2025 →	2030 →	2035 →	2040 →	2045 →	2050 →	2055 →	2060
	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	
社会増減数(5年)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計特殊出生率	1.53	1.60	1.81	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
総人口(人)	87,969	84,651	81,249	78,269	75,283	72,313	69,337	

栃木県	2025 →	2030 →	2035 →	2040 →	2045 →	2050 →	2055 →	2060
	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	
社会増減数(5年)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計特殊出生率	—	1.90	—	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
総人口(人)	—	—	—	—	—	—	—	→ 約150万人

国	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
	合計特殊出生率	1.80	—	2.07	2.07	2.07	2.07
総人口(人)	—	—	—	—	—	—	→ 約1億人

参考：先進国の合計特殊出生率は人口置換水準を下回り続けているが、フランスやスウェーデンでは、1.6台まで低下した後、回復傾向となり、フランスが2.00（2011年）、スウェーデンが1.90（2011年）となっている。フランスでは、家族手当等の経済的支援から1990年代以降、保育を充実し、さらに出産・子育てと就労の幅広い選択ができる環境整備、すなわち仕事と家庭を両立する「両立支援」を強める方向で政策が進められている。スウェーデンでも、経済的支援とあわせ、保育や育児休業制度といった「両立支援」の施策が進められてきた背景がある。

ひと・まち・しごと創生 鹿沼市総合戦略（改訂版）

平成27年度～令和3年度

鹿沼市総務部企画課

0289-63-2146